

教育委員会の動き

平成20年第6回定例会(6月20日)

(議案)◆東久留米社会教育委員の委嘱について◆東久留米市教育委員会が行う情報公開事務に関する規則の全部改正について◆東久留米市教育委員会事務委任規則の全部改正について◆

東久留米市公立小・中学校事業決定規程の一部改正について◆平成20年度東久留米市就学援助事務処理要綱の制定について◆平成20年度東久留米市特別支援教育就学援助費事務処理要綱の制定について◆東久留米市



榎本委員長

新たな改革・体制づくりを期して

東久留米市教育委員会委員長 榎本 隆司

あらたまの年を迎え、心から全市民の皆様の平和とご清福を念じます。

年頭に
あたって

百年に一度という経済危機の中での年明けですが、状況の好転することを願いつつ、それぞれ、たしかな元旦の計の実現につとめたいものです。何より、未来を生きる子どもたちにとって、明るく、希望の持てる一年にするために、可能なかぎりのてだてを考え、力したいと思います。

教育の現場は、変転する時代の趨勢を見究めつつ、先生方や地域の皆さんたちを含め関係者が深く協力し、精一杯の努力を重ねています。その成果は、目に見えて日々の子どもの瞳の輝きや成長ぶりにうかがえます。

社会教育・生涯学習に及んで教育委員会は、多面にわたる問題について、巨視的・総合的な視点からの協議を続け、当面の課題への適切な対応に日夜腐心しております。委員会をめぐる諸課題についても、私どもは、つとに、積極的な改革・体制づくりを進め、新たな進展を期しています。

一層のご批正・ご支援をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

自分が主役の人間ドラマを 東久留米市教育長 永田 昇

明けましておめでとうございます。

昨年夏の北京五輪・パラリンピックでの「ニッポン」の活躍に感動が残っているのは、私だけではないと思います。選手がプレッシャーを跳ね除け、集中力を高め勝ち上がった「人間ドラマ」を感じたからではないでしょうか。

さて、近年の社会状況は、高度情報化の中で、子どもたちの携帯電話所持率も年々高くなり話題になっています。情報の活用があり方が問われ、規範意識を育み、豊かな心・感性を磨くこと、また長寿社会において健康で人生が過ごせるための体力づくりや食育を通して、力強く生きる力も求められています。教育の分野では、新学習指導要領が告示され、「生きる力」の育成がより明確になりました。理科・数学等の授業時間の増や小学校の外国語活動の導入が決まり、今以上に、子どもたちの基礎学力の定着と個性の伸長が求められています。



永田教育長

しかし、「生きる力」は家庭に始まり、学校において、さらに生涯にわたり、学び鍛えていく中で身につくものです。そのためにも、市民の皆様がスポーツや文化活動に楽しく集い過ごせる機会を多く得られる環境を作る必要があると考えます。

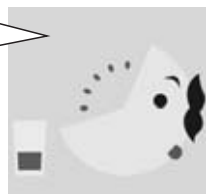
学校教育から生涯学習にかけて、自分が主役の人間ドラマが生まれるよう、これからもその営みの一助になる教育委員会を目指していきたいと思ひます。

◆◇教育委員長に榎本隆司氏を再任◆◇

昨年12月に開催された第4回市議会定例会において、12月21日で任期満了の榎本委員が再任されました。新たな任期は、平成20年12月22日から24年12月21日までの4年間です。

なお、12月17日に開催された第12回教育委員会定例会において、榎本委員が委員長に再任されました。委員長の任期は、残任期間の平成20年12月22日から21年10月11日までです。

平成20年度 東京都学校歯科 保健優良校 として表彰される!



「平成20年度東京都学校歯科保健優良校」として、第三小学校・第四小学校・第六小学校・第九小学校・第十小学校・神宝小学校・南町小学校・小山小学校・下里小学校の9校が、来月開催される「第43回東京都学校歯科保健研究大会」において表彰されることになりました。

東京都学校歯科保健優良校は、本年度の定期健康診断において6年生1人当たりの「う歯数」が3本以下の児童数を基本に、前年度の学級担任による学級指導の実施、歯科保健に関する児童会活動、給食後の歯みがきの実施、学校歯科医の意向など、個々の取り組み状況を踏まえて決定されるものです。

今回表彰される学校は、学校歯科医の指導の下、日々、歯の健康に対して行われた活動が評価されたものです。詳しくは学務課保健給食係 ☎470・7779へ。

開校30周年を
迎えました!

◆◇下里小学校と下里中学校◆◇

開校当時の下里小学校の児童数は678名。教室いっぱい子どもたちの声があふれていました。同校では「生きる力」を教育のねらいに、「考える子」「思いやりのある子」「じょうぶな子」を教育目標とし、多くの方が豊かな小学生時代を過ごされました。現在は少子化の影響もあり141名ですが、小規模校のよさを生かした教育が行われています。

下里中学校は、西中学校から分かれて創立されました。同校の教育目標は「知性を高めよう」「心身を鍛えよう」「広く思いやろう」。開校5年目から続いているボランティア活動は下里中学校の特色ある活動の一つで、市社会福祉協議会のボランティア協力校・チャレンジ指定校の指定を受け、全校生徒が参加しています。これまでの卒業生は6,040名。多くの方が社会で活躍しています。

「食」つながりのイベントを紹介します

学校一斉公開

市教育委員会では、教育施策や各学校(園)の特色や活動をご理解いただくことを目的に、いろいろな取り組みを行っています。今回は年に一度全学校で実施される、「学校一斉公開」を紹介します。

昨年の11月1日(土・東京都教育の日)、第十小学校では「道徳授業地区公開講座」として、電子レンジを使った料理研究家の村上祥子さんを講師に迎え、「食育教室 これならできる朝ごはん～電子レンジクッキング」の講演会を開催しました。当日は110人の参加があり、会場の体育館は満員となりました。

参加した保護者からは「電子レンジを使うと、食品が食べられる状態に変化していくところを見ることができていい」「電子レンジを使えば子どもでも簡単に調理できることが分かってよかった」等の意見が多く寄せられました。調理された東久留米の野菜も試食しながら、村上先生から食育と心の健康についての話を伺いました。



講演会の様子

食は楽しむ 第3回食育フォーラムを開催!

昨年の10月23日(木)～24日(金)の二日間、市役所1階市民プラザホールで、健康課・障害福祉課・学務課・保育課により、「第3回食育フォーラム 食はたのしみ」が開催されました。当日はあいにくの雨模様でしたが、開会と同時に多くの方が来場されました。大人気だったのが有料で試食できる東久留米の学校給食。小・中学校のメニューを合わせて100食用意されましたが、あっという間に完売。このほかさまざまな体験コーナーも好評でした。



←「ライフステージ」。年代ごとに食事モデルを実物の食材と量で展示したコーナー。学童期と思春期には人気メニューの学校給食を紹介。「こういうメニューあったよね」、会場入口に設けられたこの充実したコーナーで、まずは来場者のイベントに対する期待感をキャッチ!



↑「野菜パズルにチャレンジ」。いつも食べているのに、見かける機会の少ない野菜の種や花について、パズルを使って楽しみながら学べるコーナー。展示の野菜はすべて市内で作られたもの。「この野菜の種はこんなに小さかったんだ」「花はこういう色をしていたんだ...」。「野菜まるごと大発見」で野菜好きになったかな。